



# キャリア教育の推進

令和元年8月 北海道教育庁学校教育局高校教育課

高等学校学習指導要領(平成30年告示)の第5章特別活動では、ホームルーム活動の内容の取扱いとして、「一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の在り方生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。」と示されており、この教材等のことをキャリア・パスポートと呼んでいます。

キャリア・パスポートは、令和2年(2020年)4月から、全ての小学校、中学校、高等学校で実施することとなっておりますので、各高校においては、本リーフレットを参考に、地域や学校の実情に応じて創意工夫して取り組むようお願いいたします。

※ キャリア・パスポートは、準備が整っていたり既存の取組で代替できる場合は、今年度より先行実施できることとなっています。

## キャリア・パスポートについて

### 【目的】

- ・小学校から高等学校を通じて、生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐもの。
- ・教師にとっては、その記述をもとに対話的に関わることによって、生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの。

### 【定義】

- ・キャリア・パスポートとは、生徒が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動のホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。

- 👉 その記述や自己評価の指導に当たっては、教師が対話的に関わり、生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげながら、学校、家庭及び地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努めること。



### 各学校で工夫する内容

生徒が自ら記録することができ、学習を見通したり、振り返ることができること

- ・基礎資料(日常のワークシートや日記、手帳や作文等)をもとに、学年もしくは入学から卒業等の中・長期的な振り返りと見通しができる内容とする。
- ・詳しい説明がなくても、生徒が自ら記述できるようにする。

学校生活全体、家庭、地域における学びを含むこと

- ・①教科学習、②教科外活動、③学校外の活動の3つの視点から、振り返りや見通しを持つことができ、ホームルーム活動に偏らないようにする。
- ・特別活動を要しつつ、各教科・科目等と学びが往還していることを生徒が認識できるようにする。

学年を越えて持ち上げることができること

- ・小学校からの蓄積をもとに、高校3年間の記録を蓄積するため、用紙をA4判(両面使用可)に統一し、各学年ごとの蓄積は5ページ程度にまとめるものとする。
- ・個人情報が含まれることから、学校が紛失に備え十分な管理を行うようにする。
- ・中学校からの引き継ぎは、生徒を通じて行うものとする。

大人(家族や教師、地域住民等)が対話的に関わるができること

- ・生徒の記録活動のみにとどまることなく、生徒が自己有用感の醸成や自己変容の自覚に結び付けられるよう、記録を用いて話し合いや意思決定を行わせる等の学習過程を重視する。
- ・本人の意思とは反する記録を強いたり、無理な対話に結び付けないように配慮する。
- ・うまく書けない生徒に、記録を活用してカウンセリングを行うなど、生徒理解や一人一人のキャリア形成に努めるものとする。

# キャリア・パスポートの参考例 1 ～実践研究事例から～

道教委は、平成27～29年度に、小学校、中学校、高等学校合わせて49校(うち高校は14校)を指定して「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」を実施しました。本事業では、「地域ダイスキ！プロジェクト」として、地域の良さと地域での生活を営むことの意義等について理解を深めるため、小・中・高の12年間を見通したキャリアノートを作成しています。キャリア・パスポートと同様の取組ですので、参考にしてください。

※ キャリア・パスポートは、都道府県や設置者、各学校において、独自の名称で呼ぶことができます。



本事業の取組内容は、ホームページで紹介していますので、参考にしてください。(URL <http://www.furusato.hokkaido-c.ed.jp/>)

ホームページのメニューから、「ダウンロード」を選択すると、各管内ごとに、高校のキャリアノートがPDF形式で格納されています。  
各高校では、こうした先行事例を参考とし、保護者などの意見も取り入れながら自校ならではのキャリア・パスポートとなるよう、カスタマイズしていくことが大切です。



## 栗山高校 「くりやまキャリアノート」

**くりやまキャリアノート**  
キャリアノートで自分らしい生き方に出会う  
(自分の役割や価値)

このノートは、自分自身の実践を振り返り、将来の夢に向かって、積み重ねた努力の足跡を記録するものです。  
あなたがその時考えたこと、思ったことを書いてください。

目標をたてる → 実践を記録する  
振り返る

人は他の人や社会とのかかわりの中で様々な役割を担いながら生きています。  
「キャリア」とは、人が生涯の中で様々な役割を果たしながら自分の価値や他とのかかわりを見出し、積み重ねていく歩みを表すことばです。

ねらいを端的に示し、生徒との共通認識を持つ。

指導する上で、生徒が日常の高校生活における実践を振り返り、将来の自己の在り方生き方を考えるために使うことを説明している。

生徒への期待をメッセージとして書き入れることも考えられる。

学年末に行事や定期考査の記録を振り返り、学校が身に付けてほしいと考えるかごとに、自ら検証し自己肯定感を高められるよう工夫されている。

本シートでプレゼンさせることも考えられる。

### 1年間を振り返ろう

年	組	番	名前		
◎あてはまる ○どちらかといえばあてはまる △どちらかといえばあてはまらない ▲あてはまらない					
				◎ ○ △ ▲	1年間を振り返って気が付いたことを書こう。
つながる力	他人と協力しながら取り組む。 社会生活の意義や働く人の思いを知る。				
自己を見つめる力	自分の良さを知る。 夢や目標を持つ。 自分の課題を自ら解決しようとする。				
夢やライフプランを描く力	経験や様々な情報を活用する。 自分の経験や情報を基に実行する。				
行動する力	自分の課題や役割を発見する。 課題の解決や役割を果たすことに取り組む。				
自分を大切に思う気持ち	他人を尊重し、自分の良さを理解する。				
ふるさとを誇りに思う	地域との関連を考える。 地域の良さを理解し、生活する。				
◎目標、取組はどれほど実現できたか。今後に向けて。					

## 弟子屈高校 「キャリアノート ～ The Bridge To Tomorrow」

高等学校2年生用  
●将来デザインシート  
◎あなた自身の将来を想像して「〇年後の自分」ことを書き出してみましょう。将来、勉強、仕事、家庭などどんなことでも構いません。

年	高校生	あなたは何をしている？
年	来年の今頃	あなたは何をしている？
年	20歳のころ	あなたは何をしている？
年	30歳のころ	あなたは何をしている？
年	50歳のころ	あなたは何をしている？
年	70歳のころ	あなたは何をしている？

目標を設定する前の段階で、将来の自分を言語化する取組。これをもとに、生徒は何ができるようになっていけば良いかを理解し、他者ともゴールを共有しやすくなる。

高等学校3年生用  
●個人のキャリアを考える際に、「Will」「Can」「Must」というフレームワークがあります。  
円の中にあなた自身のことを書き入れてみましょう。

やりたいこと  
(夢や興味など)

Will

できること  
(知識や技術など)

Can

やること  
(仕事内容・求められていること)

Must

◎あなたの場合を書き入れてみよう。どの円が大きいでしょうか？

このほかにも、弟子屈高校のキャリアノートには、英語での問いがあるシートもあり、特別活動と教科の学びが往還するよう工夫されています。

意思決定や分析、課題解決のためのフレームワークを用いて、簡単な問いから、生徒が自己理解を深めるようにしている。

# キャリア・パスポートの参考例2 ～既存のワークシートから～

キャリア・パスポートは、特別活動のホームルーム活動以外でも、生徒会活動や学校行事のほか、総合的な探究の時間においても活用することができます。各高校では、既にこうした学習活動においてワークシートを作成するなどして、指導していることも多いと思います。このような既存のワークシートを活用するポイントを紹介しますので、参考にしてください。

## 「学期の計画と反省ワークシート」

各学期の始めに、授業や学校行事、部活動等はどう取り組むか計画を立て、さらにどう努力するかを記載させるなど、具体的な目標を設定するワークシートです。本ワークシートでは、学期の終わりに振り返りを行う欄が設定されていることから、後で振り返ったときに、そのときの気持ちを思い出す手掛かりとなる記述となるよう促すことが大切です。

●学期の計画と反省			
		記載日	年 月 日
		記載日	年 月 日
○【学期始め】今学期の間に、取り組みたい(努力してみたい)ことを記入してください。			
	授業	学校行事	部活動、校外活動等
取り組みたいこと			
どのように努力するか			
○【学期終わり】今学期を振り返り、取り組んだこと(努力したこと)を記入してください。			
	授業	学校行事	部活動、校外活動等
取り組んだこと			
何を努力したか			
先生からのメッセージ		先生からのメッセージを読んで気付いたこと、考えたこと	

定期的な振り返りを通して、自ら将来を見通すことのできる力の育成を図ります。

見通しを持った上で振り返ることにより、生徒が自らの成長や変容に気付くことができます。

書くことが苦手な生徒は、単語や短文になりがちですが、「そのときどう思った」「なぜこうしたい」と教師が対話的に関わることで、客観的に自分の行動を見ることができるよう促すことが大切です。

担任以外でも、その生徒に関わりを持つ教師が、生徒を認めていることが伝わるメッセージを返すことが大切です。

## 「インターンシップの事前・事後指導ワークシート」

そのときの進路希望にかかわらず、インターンシップの体験を通して、将来「働くこと」に関して考えをまとめるワークシートです。働くことに関する活動は、他の学校行事とは別のシートとする方が、生徒が主体的な進路決定をする際に役立ちます。この場合も、体験による気付きや学びを自分自身の言葉で言語化させることが大切です。

インターンシップについて	
記載日	年 月 日
記載日	年 月 日
○【事前】インターンシップを通して何を学びたいか記入してください。	
受入先	体験先を選んだ理由
何を学びたいか	そのために何を努力するか
○【事後】	
インターンシップを通じて学んだこと(気付いたこと、よかったこと、反省したことなど)	
「働くこと」についての今の考え(どのように考えが変わったか・変わらなかったか)	
今、考えている自分の進路(○に進学・○に就職・迷っている)とその理由	
先生からのメッセージ	受入先からのアドバイス
受入先からのアドバイス・先生からのメッセージを読んで考えたこと	

インターンシップの振り返りが単なる自己評価票とならないよう、目的を明確にさせることが、気付きにつながります。

働くことに向き合うことにより、自己の変容を進路選択に主体的に生かすことにつながります。

「迷っている」のは体験が揺さぶりをかけているからです。何をどう迷っているか、整理を促すことが大切です。

学校外の方からの目線でコメントをもらうことにより、生徒が自己の在り方を考えるきっかけとすることができます。辛口のコメントでも、早急な改善点であると、前向きに捉えるよう指導することが大切です。

キャリア・パスポートは生徒の学習活動であり、そのまま学習評価とすることは適切ではありません。学習評価の参考資料として、学習意欲の向上に結び付けることが大切です。

## キャリア・パスポートに関わる国立教育政策研究所のリーフレット

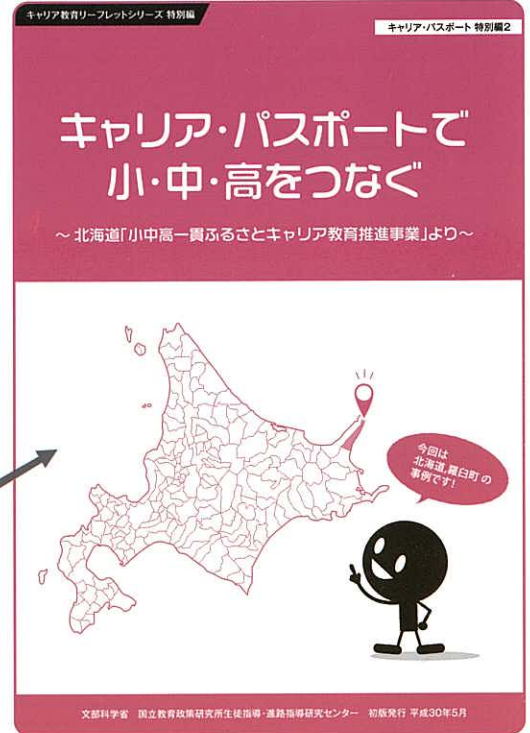
- 国立教育政策研究所の生徒指導・進路指導研究センターでは、「進路指導・キャリア教育の更なる充実のための実践に役立つ資料」として、キャリア・パスポートに関わるリーフレットを作成し、公開しているので参考にすることができます。

[https://www.nier.go.jp/04\\_kenkyu\\_annai/div09-shido.html](https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div09-shido.html)



ポートフォリオが効果的であることなどについて解説されています。

羅臼高校では、生徒全員が小学校からのキャリアノートを持って来ているとの例が紹介されています。



- 右の「キャリア・パスポートで小・中・高をつなぐ」では、参考例1に記載した「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」に取り組んだ羅臼町での事例が紹介されています。このうち、羅臼高校の「キャリアノート」は、中学校の振り返りや、前学年の記録を読み返す仕掛け、次年度の取組への見通しを立てさせる仕掛けがされていることのほか、「今の学びが将来どのように役立つか」を考えさせる項目が多く設定されていることが評価されています。
- このほかにも、キャリア・パスポート特別編として、日々の授業をつないでいる事例や、「児童生徒理解」につなげている例、「自己理解」につなげている例など、小学校や中学校でのキャリア・パスポートが紹介されていますので、バトンタッチを受ける側の学校として、参考にしてください。

## 「キャリア・パスポート」導入に向けた調査研究協力者会議における例示資料

- 文部科学省は、各学校種の学習指導要領公示に並行して、「キャリア・パスポート」導入に向けた調査研究協力者会議を設置し、その内容などについて検討を行いました。この会議の配布資料として、高等学校のキャリア・パスポート例示資料が公開されているので、参考にすることができます。

- ・文部科学省「キャリア・パスポート」導入に向けた調査研究協力者会議  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/143/index.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/143/index.htm)



- ・「キャリア・パスポート」導入に向けた調査研究協力者会議(第3回) 配付資料  
【資料3-3】キャリア・パスポート(校種別例示資料案)高等学校 (PDF:810KB)  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/143/shiryo/\\_icsFiles/afieldfile/2019/02/20/1413594\\_005.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/143/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2019/02/20/1413594_005.pdf)



## 本リーフレットに関する問合せ先

北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導グループ  
〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 TEL 011 (231) 4111 (内線35-729)  
<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/index.htm/>